

井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9 E-MAIL ioku3@gmail.com HP http://ioku3.sakura.ne.jp/
 TEL 079-444-2343 FAX 079-444-2418 2018年4月下旬号 通算121号

住宅政策

優良な住宅への融資制度を新設して、人口増、経済活性化を



井奥の主張

- ・若い世代が優良な一戸建て住宅が買える施策新設を「地元銀行などを活用した住宅融資支援制度」「融資対象先は環境性能をクリアした優良住宅」

東播には全国有数の優秀な住宅メーカーが存在します。融資の前提として「80年寿命、光熱水費も安くすむ環境性能が優良な住宅」を条件にすれば優良な建設業者の育成にもなります。

高砂市の強みは3000万円前後で一戸建て住宅が買えることです。20、30代で「月6万円の家賃程度の負担」（ボーナス併用、金利優遇政策込）で住めることをアピールすれば、他の自治体とも対抗できます。待機児童ゼロを始めとする子育て政策は高砂市の強みです。中学校給食も始まります。

あとは学力向上や学校施設への冷暖房導入といった「弱み」を補いつつ、若い世代を高砂市に誘致すべきです。新規だけでなく、中古住宅も対象にしてもいいかもしれません。大きなお金を使わずともわずかな保証金で金融を活性化させることで地域経済は回っていきます。市役所側からは十分な答弁はもらえませんでした。これからも市の活性化策を提言し続けます。



3月議会で提言

実績ゼロが続く「勤労者住宅融資制度」を見直し、若者向けの住宅融資制度を新設すべき（井奥）

高砂市の人口減少が深刻です。今年2月現在で9万1903人。人口減少を食い止めるための計画がうまく機能せず、このままでは9万人を割り込むこととなります。

浜手の工場群などへの通勤客は多いのですが、その方々が高砂市に住んでいただけてないのです。

私は貸し出し先に苦しむ地方銀行と連携して、高砂市が債務保証（数十万円程度）して住宅融資制度を新設すべきと提言しました。

意外な素顔

登市長のパワハラ疑惑・労組いじめ？



写真は起立して安倍首相を迎える閣僚

地味だけれど腰が低い人だと思っていた登市長の別な顔を告発する手紙が届きました。「部長会で登市長を迎える際には部長は起立して迎えなければいけません。登市長はいつも遅れてきます。これはパワハラでは？」という内容です。

議会で確認すると「朝のあいさつだ」とのこと。歴代の市長にはなかった習慣のようです。また、労組の執行委員長に2度にわたる執拗な処分を行い、公平委員会でいずれも「処分撤回」を言い渡されていることが3月議会で判明。前例のない処分だったようで、交渉時に厳しい言葉を浴びたのが原因と組合は主張しています。意外な素顔です。

井奥まさき 活動アルバム



4月14日大阪で関西選出の立憲民主党の国会議員と市民の対話集会を企画し、事務局・連絡先を担いました。私は緑の党ですが、日本の政治に「まっとうな」選択肢が必要だと考えます。

勝手な減免

前例のない申請不備の「固定資産税の免除」はおかしい！

おかしな点



6月開設予定の工楽邸を駐車場から（高砂町）も来るの？（井奥）

- ・ 1月1日時点の所有者が払うのが原則。「特例」で歪められた
- ・ 2件とも10年間前例のないケース
- ・ 工楽邸の寄付では申請書なしに部長が市長の代理で減免判断
- ・ 駐車場の件では申請書不備を市が書類作成して、市長が減免判断

そもそも駐車場用地の購入自体が疑問。本当に1000人

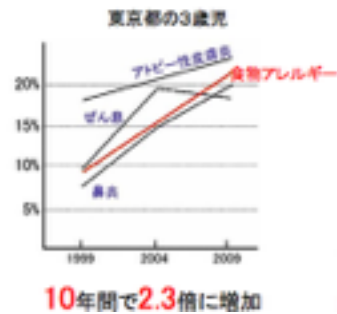
固定資産税の免除（減免）は市長の判断でできる特例はありますが、「相手方の申請書」が厳格に定められています。

3月議会で私がふと質問した「工楽邸の寄付にあたり、債務（支払っていないもの）はなかったのか」への答弁で市役所が特例で固定資産税を免除していたことがわかりました。続いて、「では週1000人利用するとして購入した駐車場用地では」と聞くと「そちらも特例で免除していた」と答弁。

引き続きの議論の中で、今回の2例のような「市長（や代理者）が判断しての減免」は「10年間なかったこと」であることも判明。申請書も1件は全くなし、もう一件は必要な書類を市がわざわざ作成していました。3月22日の本会議で登市長は「条例にそぐわない措置があった」と認め謝罪しました。しかし、いまだに不透明さは残ります。

一般質問

公共施設・学校の除草にラウンドアップなどの農薬使用禁止を



お店でよく見かける農薬のラウンドアップ（成分はグリホサート）ですが、なかなか成分が分解せず雨・河川水・飲料水から検出されています。発がん性についても国際機関から指摘されています。

1999年に基準が緩和されたことと符合するように幼児の食物アレルギーが急増し、関連性を指摘する専門家もいます。他にハチや赤トンボの大量死の原因としてきさされているネオニコチノイドという殺虫剤もあります。予防原則（あぶない場合は使用しない）に従い、市はこれらを使用禁止にしようかと提言しました。ちなみに2つの施設・道路で試験的に使用したそうです。また、農薬一般に対しては虫の駆除などのために学校以外では一部使用しているとのこと。住民への周知など、慎重な運用を求めました。【緑の党全国キャンペーンに連動質問】

高砂市民まちづくり協議会 毎月第三土曜日14時～ユーアイ帆っとセンター

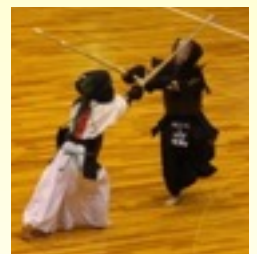
子育て日記

きょうだいとも剣道 小5まで5年間お世話に

私は小学校時代1年間だけ荒井警察署でおこなわれていた剣道教室に通っていました。その時の胴が残っているのを見て、妻たちが「剣道をやってみたら」と勧めたのがきっかけで子どもたちは剣道を習ってきました。息子だけのつもりだったのに、なぜか娘も「私もやる」と一緒に習い始めました。どちらも無事小5まで続けました。

二人とも性格上、剣道に向いているタイプではなかったのですが、先生たちに指導され、練習ではすり足や跳躍素振りなど頑張っていました。

写真は実戦で負け続けた今年中2の娘のかつての雄姿です。（といいつつ、この試合も負けていますが）



娘（左）の勇姿

普段はいい加減な今年小6の息子も先生たちの前では親が見ていておかしいほど行儀よく振る舞い、いろいろ学んだようです。

秋祭りで重要な役をもらった時も「所作がいい」と褒められました。武道習得の良さですね。

きょうだいで5年間本当にお世話になりました。